

畜産茨城

第458号

平成28年1月26日



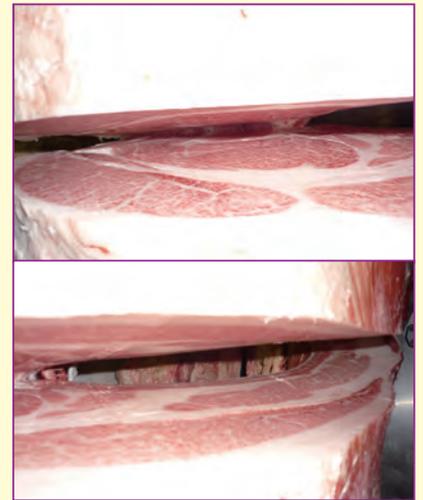
目次

第56回関東肉牛枝肉共進会……………	1	協会あいさつ……………	9
常陸牛に含まれる「オレイン酸」について…	2	地方競馬 場外発売日程……………	9
豚流行性下痢 (PED) の発生状況について…	4	平成27年11月市況……………	10
畜産農家との婚活パーティー 「第一章 出会い」を開催しました…	5	肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況…	10
地鶏の遺伝子ホモ化に伴う 不良形質発現抑制に関する試験研究 ……	6	平成27年12月市況……………	11
ローズポークおいしさまるごとキャンペーン…	7	新マルキン発動状況……………	11
第17回県南肉用牛枝肉共励会が開催されました…	8	12月鶏卵補填なし……………	11
		第15回茨城県堆肥コンクール表彰式及び 土づくりセミナーの開催……………	12

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／加倉井 豊邦

第56回関東肉牛枝肉共進会

茨城県家畜商業協同組合



▲最優秀賞枝肉 (有)加藤牧場

◀写真左から山口理事長, 加藤牧場 松山常務
古平元畜産連会長

関東肥育牛振興協会（6県の家畜商業協同組合で構成）が主催の第56回関東肉牛枝肉共進会が、9月10日から14日の5日間、東京中央卸売市場食肉市場で開催されました。

従来、10月に開催しておりましたが、東京食肉祭りや全国的な共励会が行われることから、枝肉相場に期待が持てないとの意見で、一か月早めて開催いたしました。

出品は第1部黒毛和種36頭（各県6頭）、第2部交雑種14頭（各県2頭、担当県4頭）の計50頭で実施されました。

本年度は、茨城県が担当で山口武平理事長が関東

肥育牛振興協会の会長を務め行われました。

本県出品牛の成績は、第1部黒毛和種では、日立市の(有)加藤牧場出品の「森19号」が最優秀賞になりました。審査報告では、枝肉重量が740kgあり、これほど大きい牛が最高位の賞になった例はないそうです。また、外観は前、中、後躯全てに素晴らしい厚みを備え、且つバランス良好で、群を抜く堂々とした枝肉であり、肉質も優れており、小ザシが満遍なく緻密に交雑し、きめの細かさは特に優れており、全ての面で飛び抜けていた枝肉であったとの講評でした。加藤牧場は昨年の共進会に続き2連覇を達成されました。

2pにつづく

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

そのほか畜連肉用牛振興研修農場出品の「北久茂号」が優秀賞3席に輝きました。枝肉重量が529kgと全体の中では小ぶりな方でしたが、厚み豊かな外観及びBMS No.12できめと脂肪質のよさが高評価されたとのことでした。

更に出品牛全頭がA-5, 4等級に格付けされ、常陸牛として販売されました。

第2部交雑種では担当県でしたので4頭の出品が認められましたが、入賞は常陸大宮市の木村靖さん出品の「靖1号」が1等賞2席になりました。交雑種は毎年上位入賞しておりましたが今回は残念ながら1頭に留まり残念な結果でした。

セリの状況は、長く低迷していた枝肉価格が回復の兆しが表れてきて、出品された黒毛和種

全頭が枝肉単価2,000円を超え、最優秀賞牛は2,774円、入賞牛全頭が2,400円以上で取引されました。

各県対抗の団体の部は、昨年第55回関東肉牛枝肉共進会では本県が団体優勝を果たしましたが、今回は残念ながら栃木県におしくも及ばず2位になりました。

関東肥育牛振興協会では、毎年共進会開催時に、肉用牛の振興に貢献された方を「功労者表彰」しており、本県からは古平 力さんが長年、茨城県畜産農業協同組合連合会長として肉用牛の振興や自らも和牛の繁殖牛を飼育し、生産拡大に貢献された功績により受賞の栄に輝きました。

常陸牛に含まれる「オレイン酸」について

茨城県畜産農業協同組合連合会

最近の牛肉業界においては、従来の高級牛肉の代名詞である霜降りだけでなく、脂肪の質を中心とした美味しさに関する注目が高まってきております。脂肪は、脂肪酸とグリセリンから成り立っており、脂肪酸はオレイン酸・リノール酸・リノレン酸等の様々な種類があります。脂肪酸ごとに融点等が異なるため【別表】、その構成割合によって脂肪の質は変化し、口溶けの良さや風味（香り・味）に違いが表れます。脂肪酸の中でも一価不飽和脂肪酸であるオレイン酸の割合が高いほど脂肪の融点は低く、口溶けの良いジューシーな食感をもたらすと言われております。

オリーブオイルに多く含まれることで有名なオレイン酸は、常陸牛等の和牛肉にも多く含まれており、和牛肉の脂肪酸のうち約50%をオレイン酸が占めています。和牛肉100g中のオレイン酸量（約22～23g【注1】）は、オリーブオイル大さじ2杯分（1杯に約11.6g【注2】）に相当します。また、オレイン酸にはコレステロ

ール減少・種々の病気や老化原因となる酸化の抑制・血圧降下、といった効果がある【注3】と言われており、一食分の食事を考えると常陸牛は非常に効率的なオレイン酸摂取源であるとも考えられます。

また、和牛肉と輸入牛肉のオレイン酸量を比較しても、和牛肉（前述、100g中に約22～23g）は輸入牛肉（100g中に約6.8g【注4】）の3倍以上も多く含まれているため、美味しさに違いがあるのは当然です。

余談ではありますが、同じアブラであっても「脂」と「油」は違います。脂（Fat）は、常温で固体のもので融点の高い飽和脂肪酸が多く含まれます。油（Oil）は、常温で液体のもので融点の低い不飽和脂肪酸が多く含まれます。固体の脂でも不飽和脂肪酸が多ければ、融点が低い良質な脂肪ということです。

現在は、牛肉中における①飽和脂肪酸や②不飽和脂肪酸、（不飽和脂肪酸の一つである）③オレイン酸の割合を「食肉脂質測定装置【写真】」

を活用することで、瞬時に測定できる技術が普及してきております。常陸牛も装置を活用した測定作業やデータ収集を開始しており、今後は美味しさの追求を進めながら他銘柄との明確な差別化につなげて行ければ良いと考えます。また、本会では牛肉中のオレイン酸を向上させる技術として平成20年12月に「飼料用ライスオイル（米油）給与による飼育方法」で特許を取得しており、常陸牛生産者に広く活用いただけるよう普及に努めております。

本会では、今後も関係団体と協力しながら、より美味しい常陸牛を多く生産できるよう取り組んでまいりますので、消費者の皆様には「安心・安全」プラス「美味しく・健康的な」常陸



牛をたくさん食べていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



装置本体

装置は非常に小型

牛肉の測定部である、筋間脂肪部

【注1】本会和牛肉平均値より、日本女子大で算出

【注2】五訂増補日本食品標準成分表より、日本女子大で算出

【注3】牛肉の魅力（公益社団法人日本食肉消費総合センター平成22年）より引用

【注4】五訂増補日本食品標準成分表 輸入牛肉サーロイン（皮下脂肪なし、生）より、日本女子大で算出

筋間脂肪の脂肪酸組成と融点【平成24年8月】

茨城県畜連での調査結果（調査対象141頭、一部抜粋）

	平均	最大	最小	融点
脂肪融点	26.5℃	36.9℃	17.3℃	
パルミチン酸 (C16:0)	23.31%	30.30%	15.28%	62.7℃
ステアリン酸 (C18:0)	9.02%	17.86%	4.48%	70.5℃
飽和脂肪酸	34.73%	45.56%	24.15%	
オレイン酸 (C18:1)	50.41%	60.88%	42.76%	13.4℃
パルミトレイン酸 (C16:1)	4.91%	10.11%	2.75%	5.0℃
一価不飽和脂肪酸	58.11%	67.90%	48.36%	
リノール酸 (C18:2)	2.30%	3.95%	1.35%	-9.0℃
リノレン酸 (C18:3)	0.40%	0.85%	0.00%	-17.0℃

豚流行性下痢 (PED) の発生状況について

茨城県鹿行家畜保健衛生所

【近年の PED 発生状況】

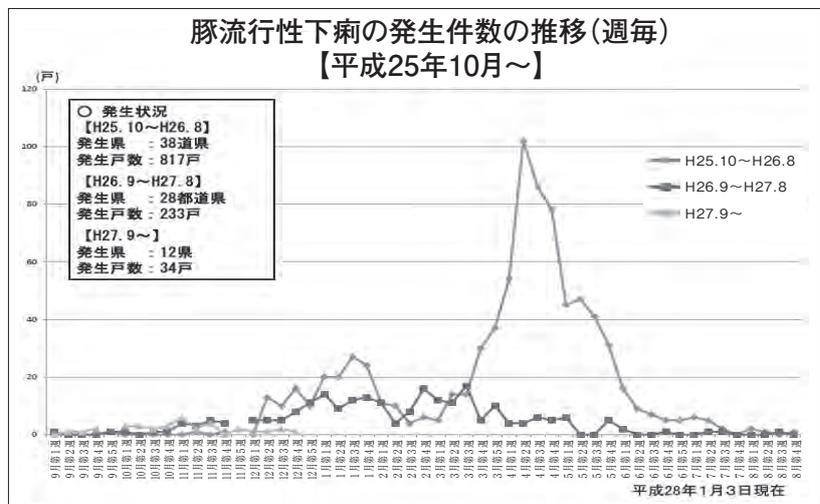
PEDは下痢、嘔吐、食欲不振等の症状を示し、特に哺乳豚では死亡率の高い病気です。

平成25年10月に7年ぶりに沖縄県で発生が確認されて以降、同年11月には本県でも発生しました。1年目のシーズンでは38道県で817戸と爆発的な流行がありました。2年目のシーズンとなり、全国では28都道府県233戸と減少しましたが、本県では平成27年1月末から7月までに、銚田市を中心に37戸で発生が確認されました。

発生地域では早期通報、消毒、ワクチン接種などの早期終息に向けた対策を徹底したことで、平成27年9月末には全ての発生農場で症状が認められなくなり、非発生農場へ復帰しました。

このような状況で平成27年9月から3年目のシーズンに入り、10月には鹿行地域の2農場

で発生が確認されましたが、すでに当該農場での症状は沈静化しています。しかし、12月になると新たに鹿行地域の1農場で発生していること、また、全国的には1月3日現在で12県34戸が発生している状況であり、冬季に入り、管内及び全国ともに発生戸数が増えていますので、引き続き、注意が必要です。



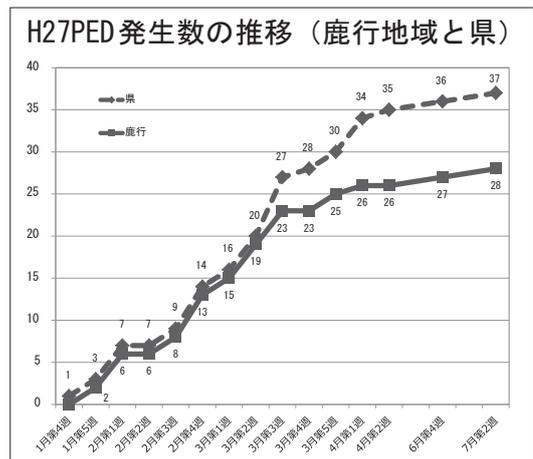
【PED サーベイランス結果】

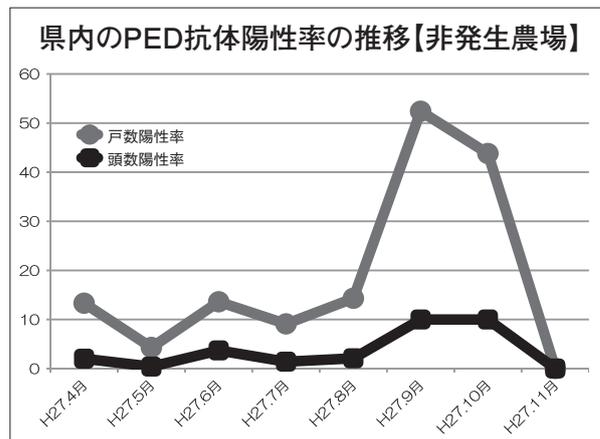
本県では、平成26年度から県内のPEDの抗体保有状況を確認するため、非発生農場の肥育豚の検査を実施しています。平成27年度は毎月、約20農場200頭（10頭/農場）を抽出して、中和試験を実施した結果、9月に入るとPED抗体を保有している農場数が増加しました。これらの農場の抗体保有頭数は少なく、抗体価も

低い傾向にあり、PEDの症状は確認されていません。しかし、非発生農場の肥育豚の中にもPEDウイルスがすでに侵入している可能性は否定できないことから、今後も継続的に浸潤状況を把握していく必要があります。これらを情報提供していくことで、PED防疫対策の一助になればと考えます。

発生都道府県	初発事例確認日	発生件数	発症頭数	死亡頭数	頭数の最終確認日
岩手県	平成27年12月30日	1	60	0	平成28年1月3日
茨城県	平成27年10月1日	3	2,120	130	平成27年12月21日
栃木県	平成27年11月14日	1	1,505	189	平成27年12月25日
群馬県	平成27年11月2日	2	323	134	平成27年12月2日
千葉県	平成27年10月15日	5	1,253	491	平成27年12月25日
新潟県	平成27年11月16日	1	3	0	平成27年12月24日
愛知県	平成27年9月14日	11	1,153	518	平成27年12月25日
三重県	平成27年10月5日	1	119	9	平成27年12月17日
長崎県	平成27年12月22日	1	79	0	平成27年12月22日
熊本県	平成27年11月4日	2	1,182	381	平成27年12月18日
宮崎県	平成27年9月26日	2	162	0	平成27年12月18日
鹿児島県	平成27年10月21日	4	15,978	1,245	平成27年12月24日
合計		12 県	34	23,937	3,097

県の取りまとめによる累計数。
発生件数については、平成28年1月3日現在のもの。





【PEDの対策】

PEDの発症を抑えるためには、PEDウイルスを農場内に入れない、増やさない、発生させない対策を徹底して実施することが重要です。

まず、ウイルスを農場に入れないためには、飼養衛生管理基準を順守し、導入豚の隔離、農場内に入る人や物の規制、車・長靴・器具の消毒などのバイオセキュリティを強化します。

また、既に農場内にウイルスが侵入している可能性もあることから、定期的な洗浄・消毒の徹底により、ウイルス量を減少させることが必要となります。特に冬季はウイルスが環境中に残りやすい状態となりますので、比較的効果が

落ちにくい逆性石鹼や消石灰でまめに消毒する必要があります。

さらに、発生させないためには、温度や密度などの飼養管理の徹底はもちろん、母豚へのワクチン接種の徹底により、多くの抗体が含まれる乳汁を哺乳豚が継続的に十分な量を飲むことで、哺乳豚へのウイルス感染を防御することも重要です。

各農場では、これらの衛生管理によるウイルス量の低減とウイルスの侵入・まん延防止対策を徹底し、衛生管理レベルを上げていくことで、今後もPEDの発生を防止していきましょう。

畜産農家との婚活パーティー「第一章 出会い」を開催しました

(公社) 茨城県畜産協会

平成27年12月5日(土)、後継者不足の改善を図るため、当協会初の取組となる畜産農家後継者の婚活イベントを開催いたしました。

当日は、滞在型市民農園笠間クラインガルテンにて、男女が共同でそば打ちを体験し、楽しんでいただきながら親睦を深め、さらに常陸国出雲大社において、マッチングパーティーでの良縁を祈念する祈願祭を行いました。

パーティーでは茨城県酪農業協同組合連合会、茨城県肉用牛生産者協会、茨城県養豚協会及び茨城県養鶏協会から提供いただいた県産畜産品を味わいながら、じっくり語り合い、お互いの理解を深めていただきました。

マッチングの結果、素敵な4組のカップルが誕生いたしました。おめでとうございます。



地鶏の遺伝子ホモ化に伴う不良形質発現抑制に関する試験研究

茨城県畜産センター生産技術研究室

はじめに

日本在来種を親鶏（両親または片親）とする地鶏は全国各地で飼養されていますが、同じ品種であってもその地方のニーズに合った独自の優れた性質を保有していることが特徴で、それらの性質を保持しながら安定的に地鶏を生産・供給するために遺伝的能力が均一な種鶏群を維持する必要があります。

茨城県では銘柄地鶏“奥久慈しゃも”の能力を保持するため長年閉鎖群（他の系統とは交配せず一定の能力を持つ鶏群の中で交配を繰り返す飼養方法）で原種鶏を維持していますが、このような飼育手法は優れた遺伝的能力を保持できる一方、好ましくない性質の遺伝子についても群の中で固定化され不良形質として現れてくる欠点（近交退化）を併せ持っています。

そこで閉鎖維持群での不良形質発現を抑制できる飼養技術を検討しています。

試験概要（図1）

奥久慈しゃもの雄系統しゃもについて3つの交配試験区を設け、一年一世代の交配を繰り返し、現在第4世代（G4）の表現形質と遺伝的多様性の世代変化を調査しています。第3世代までの結果についてご紹介します。

1 交配試験区

- A区：群外（B区）の雄を交配に供した循環交配区
- B区：飼養羽数増加・過去の凍結精液利用区
（凍結精液は約20年前、2～5年前を利用）
- C区：対照区

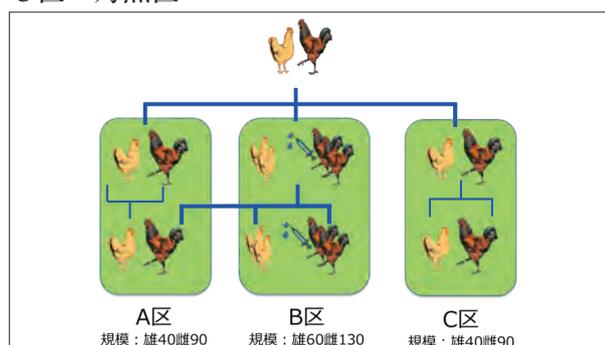


図1 交配試験イメージ

2 調査項目

表現形質の指標として受精率、ふ化率、産卵率（250～300日齢）および精巣重量を調査しています。また、遺伝的多様性の指標として、28種類のマイクロサテライトマーカー（DNA反復配列）により各世代160～180検体の血液について対立遺伝子数およびヘテロ接合率を調査

しています。

※それぞれの形質は1対の遺伝子すなわち対立遺伝子によって決定されます。対をなしている2つの遺伝子が同じものがホモ接合体、異なったものがヘテロ接合体です。

結果

1 表現形質（図2）

250日齢から300日齢における産卵率は、C区に比べ、A区およびB区で高く推移しています。また、全区で第1世代で上昇し、その後なだらかに低下しています。

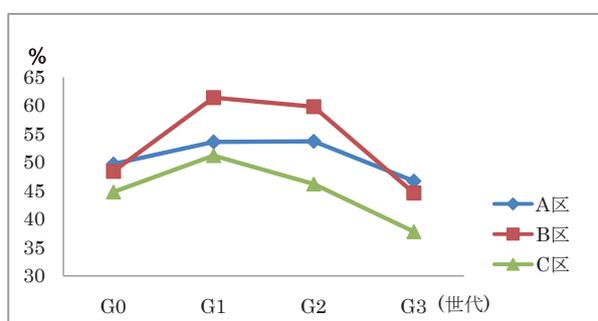


図2 産卵率の推移

2 遺伝的多様性（図3, 4）

平均対立遺伝子数および平均ヘテロ接合率はC区に比べ、A区およびB区で高く推移しており、遺伝的な多様性（ばらつき）が認められています。また、20年前の凍結精液由来鶏から、

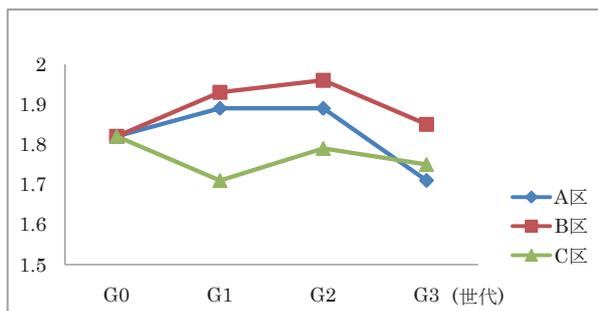


図3 平均対立遺伝子数の推移（1マーカーあたりの平均）

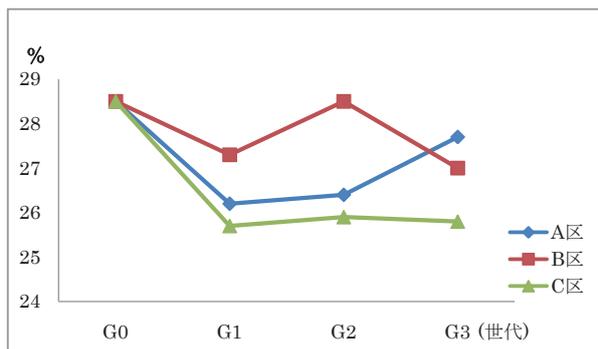


図4 平均ヘテロ接合率の推移（1マーカーあたりの平均）

凍結精液由来鶏のみが保有している対立遺伝子が検出されています。

まとめ

閉鎖維持群での不良形質発現を抑制できる飼養技術として、飼養羽数を増やし、過去の凍結精液を利用する飼養技術（B区）は、表現形質の指標とする産卵率および遺伝的多様性調査で高く推移していることから、遺伝的多様性の低下を抑制でき、不良形質発現を遅らせる可能性が分かってきました。また、雄を入れ替える循

環交配（A区）も一定の効果があり、A区とB区を組み合わせることにより、維持群を大きく管理できるため、今後も活用していきたいと考えています。

当試験で、各世代毎に凍結精液の作成・保存を行っていますが、今回の結果からも重要であることが分かりました。近交退化対策、さらに種の保存からも引き続き凍結精液の保存を行うとともに外部からの同系統種の導入による種鶏群の維持の検討も行っていきます。

2016 ローズポーク おいしさまるごとキャンペーン

茨城県銘柄豚振興会

日頃よりローズポークをご愛顧くださりまして、誠にありがとうございます。そんな皆様に感謝の気持ちを込めて、「2016ローズポークおいしさまるごとキャンペーン」を実施します。

期間中、ご応募いただいた方に抽選で素敵な賞品が当たります。

（応募期間：平成28年2月1日（月）～21日（日））

※2月21日消印有効



応募はがきにローズポークシールを2枚貼りつけ、ローズポークお買い上げ店を明記の上ご応募ください。詳しくは、『茨城県銘柄豚振興会』で検索！！

たくさんのご応募お待ちしております。

当振興会は消費者の皆様幅広く「ローズポーク」を理解していただくために普及推進活動を展開し、キャンペーンや消費者交流会を通して販路拡大に努めております。今後も引き続きご支援・ご愛顧をよろしくお願いいたします。

2016

いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

おいしさまるごと キャンペーン

キャンペーン期間
2016年2/1月～21日

合計
100名様
当たるよ!

<p>A賞</p> <p>ローズポーク ローズスライス 【しゃぶしゃぶ用】1kg</p> <p>10名様</p>	<p>B賞</p> <p>ローズポーク ローズ切身 【800g】</p> <p>10名様</p>	<p>C賞</p> <p>ローズポーク 肩ローズスライス 【焼肉用】1kg</p> <p>10名様</p>
<p>D賞</p> <p>ローズポーク ローズ味増漬 【800g】</p> <p>10名様</p>	<p>E賞</p> <p>ローズポーク 華麗なる逸品 【ローズポークカレー3食/箱×2】</p> <p>10名様</p>	<p>F賞</p> <p>ローズポーク ウイナー 【3パック】</p> <p>50名様</p>

応募方法 ● 任意の日にローズポークの購入に際し、必ず、住所・電話番号、ローズポークお買い上げ店を明記の上、応募してください。
 応募期間 ● 平成28年2月1日～21日（日）（消印有効）
 賞品引換 ● 賞品引換券を振替口座に提出してください。
 抽選 ● 抽選は当選者リストを抽出し、抽選結果を当選者リストに掲載いたします。

茨城県銘柄豚振興会
〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山1950-1
http://www.ib.zenoh.or.jp/rosepork/

第17回県南肉用牛枝肉共励会が開催されました

茨城県県南農林事務所

平成27年11月16日(月)～11月19日(木)茨城県中央食肉公社で県南肉用牛経営技術研究会主催の第17回県南肉用牛枝肉共励会が開催されました。

当研究会は県南地域における肉用牛の肥育技術の向上と普及を図ることを目的として設立され、現在会員数26名で活動しております。毎年11月に共励会を行い、肥育技術の向上にむけて会員同士切磋琢磨しております。

共励会当日は、黒毛和種 27頭、交雑種 7頭の出品がありました。

枝肉重量は昨年よりやや小さかったものの、肉質については、会員の高い肥育技術が現れる

結果となりました。和牛の部ではBMSNO. が平均8.1と昨年から0.7伸ばしました。交雑種でもBMSは4.4と昨年から0.8伸ばしました。

また和牛の部では、全ての牛が4等級以上で常陸牛率100%を達成しました。

厳正なる審査の結果、和牛の部の名誉賞はつくば市の成島克巳さんの枝肉、交雑種の部の最優秀賞には石岡市の関郁夫さんの枝肉が選ばれました。受賞された方々おめでとうございます。

近年、子牛価格や飼料価格の高騰など、肥育農家にとっては厳しい情勢が続いていますが、さらなる技術向上を目指して会員一同頑張っておりますので、今後とも応援よろしくお願いたします。



和牛の部

	名 前	父	母の父	導入先	枝肉重量	格付
名 誉 賞	成島 克巳	百合茂	安福久	岩手	526.0kg	A - 5
最優秀賞	関 郁夫	光平照	平茂勝	栃木	492.0kg	A - 5
優 秀 賞	酒井 克己	北乃大福	勝忠平	岩手	518.0kg	A - 5
優 秀 賞	宮本 守正	安福久	百合茂	広島	533.0kg	A - 5
優 秀 賞	宮本 守正	美津百合	美津福	広島	457.5kg	A - 5

交雑種の部

	名 前	父	母の父	導入先	枝肉重量	格付
最優秀賞	関 郁夫	安福勝	-	群馬県	566.0kg	B - 4
優 秀 賞	(有)野口肥育牧場	千 穂	-	茨城県	554.5kg	A - 4

新年あけましておめでとうございます

茨城県畜産協会



日頃より、当協会の事業推進につきましては、多大なるご協力とご支援をいただきまして、心より御礼申し上げます。

さて、畜産を巡る情勢は、昨年のTPP大筋合意などにより日本の市場は開放に向かいグローバル化時代へと進展し、畜産生産者におかれましては、将来への不安と危機感が増大してい

る状況にあります。

このような情勢の中、本県畜産生産者が安心して再生産出来る経営を存続し、引き続き、安全安心な畜産物の供給基地として維持出来るよう、当協会役職員一同が一丸となって取り組んでまいりますので、より一層の御支援と御協力を賜りますよう、よろしく御申し上げます。

地方競馬 場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL：029-265-5800

※発売日程は、変更になることがあります。

2016年2月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
オフトひたちなか			浦和							大井						船橋								大井					川崎

○第8回エンングフラウ賞

○第60回金盃

○第52回報知グランプリカップ

○第7回フジウェーブ記念

2016年3月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
オフトひたちなか		川崎							船橋						大井									浦和						川崎	

○第62回インプレス杯

○第61回ダイオライト記念

○第39回京浜盃

○第62回桜花賞

○第19回クラウンカップ

平成27年11月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
11	一般子豚	35	19,764	9,612	16,702	50
	ベビー豚	411	16,740	9,612	13,305	35
25	一般子豚	33	15,660	11,880	15,071	50
	ベビー豚	354	17,712	10,152	14,703	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀ ♂ 去計	49	807,840	441,720	605,770	269	2,256
			0					
			67	908,280	462,240	772,474	297	2,605
	116	908,280	441,720	702,056	285	2,466		
	経産	3	457,920	300,240	380,880	-	-	
F1	♀ ♂ 去計	12	378,000	301,320	349,740	263	1,331	
		25	464,400	325,080	419,818	282	1,490	
		37	464,400	301,320	397,090	276	1,441	

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
11	入場頭数	11	0	0	0	0	9	11	0
	成立頭数	2				3	8		
	最高(円)	44,280				69,120	66,960		
	最低(円)	44,280				43,200	32,400		
	平均(円)	44,280				55,080	47,925		

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀ ♂ 去計	42	753,840	488,160	635,117	265	2,395
			0					
			49	939,600	466,560	757,476	293	2,581
91	939,600	466,560	701,003	280	2,500			

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉；毎週月曜日、木曜日					
	項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数		
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	16,239.0	78.6	503	482	470	439	365	455	29,560	1,253.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A	383	476.8	2,677	2,505	2,405	1,757	-	2,536	
	B	41		2,466	2,391	2,159	1,426	-		
	C	7		-	-	-	1,258	844		
乳牛	A	-	316.6	-	-	-	-	-	675	
	B	33		199	-	-	-	747		660
	C	166		-	-	-	695	617		
交雑牛	A	24	505.0	2,108	1,860	1,743	1,425	-	1,696	
	B	97		145	1,890	1,863	1,719	1,571		-
	C	24		-	1,723	1,632	1,425	702		

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29		
				頭数	最高(円)	最低(円)
乳牛	スモール	♀ ♂ 去計	3	42,120	3,240	23,040
			193	140,400	5,400	91,643
			0			
196	140,400	3,240	90,593			
F1	スモール	♀ ♂ 去計	91	232,200	21,600	175,909
			108	321,840	12,960	256,900
			0			
199	321,840	12,960	219,864			
子牛	♀ ♂ 去計	1	194,400	194,400	194,400	
		0				
		0				
1	194,400	194,400	194,400			
3歳以上	♀ ♂ 去計	1	389,880	389,880	389,880	
		0				
		1	389,880	389,880	389,880	
スモール	♀ ♂ 去計	1	384,480	384,480	384,480	
		0				
		1	384,480	384,480	384,480	
子牛	♀ ♂ 去計	1	707,400	707,400	707,400	
		2	614,520	523,800	569,160	
		0				
3	707,400	523,800	615,240			
3歳以上	♀ ♂ 去計	5	459,000	343,440	411,048	
		0				
		5	459,000	343,440	411,048	

肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況

平成27年度第3四半期(平成27年10~12月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	332,000	303,000	217,000	130,000	199,000
合理化目標価格	277,000	255,000	147,000	88,000	144,000
平均売買価格	707,700	623,300	484,500	262,300	389,800
補給金単価	-	-	-	-	-

○肉用牛繁殖経営支援事業

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
保証基準価格	332,000	303,000	217,000
平均売買価格	707,700	623,300	484,500
発動基準	420,000	380,000	280,000
支援交付金単価	-	-	-

平成27年12月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
14	一般子豚	70	20,304	18,036	19,354	50
	ベビー豚	352	19,656	11,664	16,864	35
22	一般子豚	12	17,820	17,820	17,820	50
	ベビー豚	355	18,684	14,148	16,954	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	46	758,160	542,160	673,990	280	2,410
			0					
		♂	88	973,080	635,040	799,642	302	2,645
		計	134	973,080	542,160	756,508	295	2,568
		経産	5	717,120	287,000	395,064	-	-
F1	♀	13	393,120	264,600	335,548	265	1,267	
		21	519,480	357,480	453,137	277	1,638	
		34	519,480	264,600	408,176	272	1,500	

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
	入場頭数	開催なし							
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀	開催なし					

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
	乳牛	スモール	♀	7	194,400	8,640	82,080
				151	130,680	7,560	100,082
				158	194,400	7,560	99,285
				1	293,760	293,760	293,760
				2	293,760	217,080	255,420
	F1	子牛	♀	91	234,360	91,800	180,040
				100	318,600	11,880	259,589
				0			
				191	318,600	11,880	221,688
				4	311,040	226,800	255,960
	乳牛	子牛	♀	1	378,000	378,000	378,000
				5	378,000	226,800	280,368
				1	342,360	342,360	342,360
				0			
				1	342,360	342,360	342,360
	黒毛和種	子牛	♀	1	465,480	465,480	465,480
				8	564,840	158,760	348,975
				0			
				8	564,840	158,760	348,975
				8	564,840	158,760	348,975

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日					
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数			
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	17,120.0	77.7	564	541	530	499	385	512	28,881	1,195.0
牛			5	4	3	2	1			
和牛	A	345	486.6	2,892 2,719 2,512 1,933 -				2,752		
	B	31		381	2,731 2,516 2,133 1,341 -					
	C	5			- - - 1,083 571					
乳牛	A	-	305.8	-				633		
	B	12		163	-					
	C	151			-					
交雑牛	A	15	494.6	2,058 1,924 1,795 1,586 -				1,710		
	B	114		159	2,231 1,915 1,772 1,559 -					
	C	30			- - 1,690 1,260 -					

新マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成27年11月	概算払単価	-	-	-
平成27年10月	概算払単価	-	-	-

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

お知らせ

12月鶏卵補填なし

茨城県養鶏協会

日本養鶏協会は4日、鶏卵生産者経営安定対策事業による2015年12月の補填はなかったと発表しました。標準取引価格が1キロ当たり247.67円と補填基準価格(188円)を上回ったため。補填がないのは11カ月連続となりました。

第15回茨城県堆肥コンクール表彰式及び 土づくりセミナーの開催

茨城県農林水産部畜産課

県では、環境にやさしい農業を推進するため、エコ農業茨城に取り組んでいます。その環境にやさしい農業の基幹となるのが土づくりであり、環境の保全や農産物の高品質・安定生産のためにも、家畜ふん堆肥（以下、「堆肥」）を活用した土づくりや、耕畜連携の取組拡大が求められています。

土づくりセミナーは、良質な堆肥の生産・利用に係る先進的な事例や研究成果を紹介し、堆肥の活用による化学肥料を削減した環境にやさしい農業の取組について学んでいただくことで、堆肥を活用した土づくりを推進し、耕畜連携の取組拡大を図ることを目的としています。

今回は、牛ふん堆肥の活用方法をテーマに開催いたします。皆様の参加を心よりお待ちしております。

【日 程】

- 日 時：平成28年2月12日（金）午後1時30分から
- 場 所：茨城県農業総合センター 大研修室（笠間市安居3165-1）
- 内 容：1 表 彰 第15回茨城県堆肥コンクール表彰式
2 話題提供 （1）最優秀賞受賞者事例紹介
「良質堆肥の生産について」
第15回茨城県堆肥コンクール最優秀受賞者
（2）優良事例紹介
「良質堆肥の生産と供給体制の構築」
平澤牧場 平澤 克人 氏
3 講 演 「土壌診断と土壌に与える堆肥の効果（適正施肥管理）」
一般財団法人日本土壌協会 専務理事 猪股 敏郎 氏



主 催：茨城県堆肥利用促進協議会
（公益社団法人 茨城県畜産協会）
参集範囲：農業生産者（耕種・畜産）
関係団体、行政機関 等

お問い合わせ先

茨城県農林水産部畜産課
電話 029 (301) 3988 担当 鬼澤
（公社）茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501 担当 小林・木村



わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



① 森久保薬品株式会社
水戸市笠原町1538-4 TEL/029-241-3131
FAX/029-241-3187
<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccpj.jp>



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

茨城県銘柄豚振興会

事務局
〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950
全国農業協同組合連合会 茨城県本部内
TEL / 029 - 292 - 8004
FAX / 029 - 292 - 7743

茨城県が誇る、霜降り牛肉

常陸牛
ひたちまき

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

- 当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp
- 本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール chikusan@ibachiku.com
- ホームページ
<http://ibaraki.lin.gr.jp>